

「発達と学習」授業報告書

教育臨床 水口啓吾

授業情報

授業名 発達と学習

開講 2022年度後学火曜日4時限目

受講者数 186名（主に教育学部1年生）

授業概要 幼児、児童、生徒を中心とした人間の心身の発達と学習の過程に関する心理学の基本的な研究成果を概観し、教師にとって必要な心理学的な基礎知識を習得することを目指す。授業内容としては、以下の2つを軸に展開する。

- ① 子どもの発達の側面（人間の認知機能の発達、自己の形成過程、集団における人間関係の形成など社会性の発達や問題）
- ② 子どもの学習的側面（学習の基礎メカニズムや学習を支える動機づけの理論と実証的知見）

授業スケジュール

第01回：オリエンテーション —発達とは—

第02回：発達と学習の基礎

第03回：発達段階と教育

第04回：社会性の発達（1）

第05回：社会性の発達（2）

第06回：自己の発達

第07回：情動の発達

第08回：言語の発達

第09回：記憶の発達

第10回：認知の発達

第11回：学習のしくみ

第12回：動機づけ

第13回：教師と子どもの人間関係

第14回：学習の指導と方法

第15回：まとめ —発達とは—

授業到達目標

- ① 乳児期～青年期を生きる子どもの発達や学習に関する固定的な先入観の問題点を理解し、教育に幅広い視野が必要であることに気づく。
- ② 子どもを支援する実践的示唆を考え、教職への動機づけと学習目標を具体化できる。

授業形態

本授業は、講義形式を中心とした進行であったが、適宜、授業内のテーマに関して、受講生にコメントを求める機会も設けた。内容については、全体開示の許可を当該学生に取ったうえで、授業中に紹介した。また、授業中には、テーマに関連する動画の視聴や最近のニュース、関連する心理学的先行研究の紹介を行い、受講生の関心を高める努力を行った。授業スタイルとしては、配布資料に適宜、穴埋めを設定し、受講生が授業中のスライドを見て記入する形を採用していた。

以上より、受講生自身に授業への積極的関心を高めてもらうと同時に、「授業で重要な内容は何か」を常に意識してもらえるように努めた。

授業アンケート

【知識・理解】教育と教職に関する確かな知識と、得意とする分野の専門的知識を修得している。

とてもそう思う:87%

ある程度そう思う:13%

【技能】教育活動に取り組むための十分な技能を身につけている。

とてもそう思う:60%

ある程度そう思う:33%

【思考・判断・表現】教育現場で生じているさまざまな現代的諸課題について、専門的な知見をもとに、その対応方を理論に基づいて総合的に考え、その過程や結果を適切に表現することができる。

とてもそう思う:73%

ある程度そう思う:23%

あまりそう思わない:3%

【関心・意欲・態度】教師としての使命感や責任感を持ち、自己の課題を明確にして理論と実践とを結びつけた主体的な学習ができ、自主的に社会に貢献しようとする。

とてもそう思う:70%

ある程度そう思う:23%

あまりそう思わない:7%

【自由記述(抜粋)】

- 先生による説明が中心なので、集中して授業に取り組むことができる。
- 具体例が多く、動画も取り入れながら授業内容を説明してくれるので記憶に残りやすい。
- 資料が穴埋めなので大切な個所が分かる。
- この授業のおかげで、心理学にますます興味を持った。
- 先生の心理士としての体験談なども聴きたいのもっと授業に盛り込んでほしい。
- 内容はおもしろいが、情報量が多いため整理しにくい。

授業改善点

授業資料は穴埋めスタイルを採用していたが、情報量が多いことは事実である。そのため、受講生にとって「どの内容が重要であるのか」が分かりやすくなるように工夫をすべきであった。今後は、単純に内容を説明するのではなく、「ここは重要です」、「この内容は補足的に理解してください」といったように、適宜、補佐的情報提供を取り入れていきたい。今後の課題である。